

WBGT（暑さ指数）の認知度向上・活用促進、発信体制の強化、暑熱対策の推進を実施します。

1. 事業目的

- ①WBGT（暑さ指数）の認知度向上・行動変容に繋がる情報発信のあり方の検討
- ②暑熱対策分野の適応策推進
- ③熱中症予防情報の発信体制の強化

2. 事業内容

近年、気候変動やヒートアイランド現象等による気温上昇に伴い人への暑熱ストレスが増大しており、暑熱回避行動の促進、熱中症予防情報の提供が重要性を増している。

- ① WBGT（湿球黒球温度：「暑さ指数」）を活用した暑熱回避行動の促進のため、WBGTが熱中症の危険度を示す指標であることが理解されるよう、情報発信方法の見直し、報道との連携等により認知度の向上を図る。また、熱中症搬送者数データとの相関を分析・発信するなど、行動変容を促す情報発信のあり方を検討する。
- ② 政府の「気候変動適応計画」等の策定の参考となるよう知見の収集やとりまとめ、検証を行った暑熱対策の情報を発信。
- ③ 平成30年7月豪雨等を踏まえ、災害時でもWBGT（暑さ指数）や熱中症の予防方法、対処方法等の情報を提供出来るよう、熱中症予防情報の発信体制の強化を行う。また、面的なWBGT（暑さ指数）の情報提供について検討する。

3. 事業スキーム

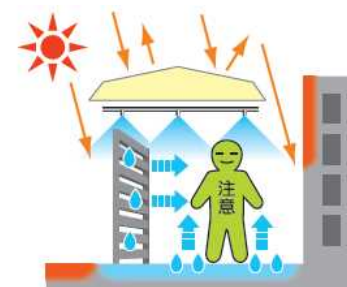
- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体／研究機関
- 実施期間 平成18年度～

4. 事業イメージ

①WBGT（暑さ指数）の認知度向上



②暑熱対策の推進



③熱中症予防情報サイト

